

受講番号		氏名	
------	--	----	--

2020 年度

登録造園基幹技能者講習

B 福岡会場

[注 意]

1. 答は別の解答用紙に記入してください。
2. 答を訂正する場合は、消しゴムでていねいに消して訂正してください。
3. この問題用紙の余白は、計算等に使用して差し支えありません。
4. 退席の際、解答用紙とともにこの問題用紙も回収しますので、
持ち帰らないでください。

一般社団法人 日本造園建設業協会
一般社団法人 日本造園組合連合会

[問題 1] 登録造園基幹技能者に求められる能力に関する記述として、**適当でないものはどれか。**

- (A) 作業員を適正に配置し、効率的な作業手順で施工する。
- (B) コストに関係なく常に最高位の品質を追求する。
- (C) 契約した工期内に工事を完成させる。
- (D) 部下の指導・教育を適切に行う。

[問題 2] 登録造園基幹技能者の役割として、**適当でないものはどれか。**

- (A) 材料の手配、技能者への指示などの段取りと取りまとめ
- (B) 造園空間の“おさまり”に関する調整や指導
- (C) 工程・安全管理、他工事との調整
- (D) 設計変更契約に関する入札への参加

[問題 3] 登録造園基幹技能者に求められる能力に関する記述として、**適当でないものはどれか。**

- (A) 十分な経験を有し、熟達した作業能力
- (B) 設計趣旨を十分理解して設計監理ができる能力
- (C) 現場施工の進展等に的確に対応する能力
- (D) 現場をまとめ、効率的な作業を実施するための管理能力

[問題 4] 造園的ものづくりの考え方で配慮すべき事項として、**適当でないものはどれか。**

- (A) 機能性
- (B) 奇抜性
- (C) 景観性
- (D) 合理性

[問題 5] 造園工事設計の手順に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 構想は、計画地の機能、事業費概算、運営・管理の方法などを検討する段階である。
- (B) 基本計画は、空間イメージを決める段階である。
- (C) 基本設計は、イメージを具体的な形にする段階である。
- (D) 実施設計は、基本設計の内容を施工に必要な設計図書にする段階である。

[問題 6] 造園工事の施工現場で作成される図面として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 施工図
- (B) 竣工図
- (C) 構想図
- (D) 変更図

[問題 7] 効果的な話し方に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 相手の方を向いて聞き手を無視せず熱意を込めて話をする。
- (B) ジェスチャーを取り入れ興味をそそるように話をする。
- (C) 大切なポイントは、繰り返さず一度で説明する。
- (D) 写真や映像を活用して話をする。

[問題 8] 近隣に迷惑がかからないよう配慮すべき対応として、**適当なものは**どれか。

- (A) 建設機械を連続作業させ効率化を図る。
- (B) 大気汚染防止法の厳守を最優先とする。
- (C) 現場周辺の清掃を実施する。
- (D) 作業時間を労働基準法に適合させる。

[問題 9] 人材育成の方法に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 日常の仕事を通して行う指導が OJT である。
- (B) 日常の仕事を離れて行われる集合研修・教育が OFF-JT である。
- (C) 携わる仕事の原点を指導・教育することが OJT の目的である。
- (D) 体系的、理論的な訓練を集中的に行う方法が OJT である。

[問題 10] 成果の上がる指導に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 部下が期待に応えて成果を上げたら、素直に部下の努力、頑張りを讃める。
- (B) 人は誰でも教育・訓練をすれば、同じような能力が身に付くはずと考えて取り組む。
- (C) 人を育てるには、その人の持ち味を認め、一つひとつ得意技を身に付けさせる努力をする。
- (D) 十分な満足は得られなくとも、大きな不満を持たれることのないように手を尽くす。

[問題 11] 都市公園移動等円滑化基準に定める園路に関する次の記述の(ア)(イ)(ウ)の組み合せとして、**適当なもの**はどれか。

通路の幅は(ア)cm 以上とすること。ただし、やむを得ない場合は、通路の末端付近の広さを車いすの転回に支障ないものとし、かつ(イ)m 以内ごとに車いすが転回することができる広さの場所を設けたうえで、幅を(ウ)cm 以上とすることができる。

	(ア)	(イ)	(ウ)
(A)	180	50	120
(B)	120	50	90
(C)	180	100	120
(D)	120	100	90

[問題 12] 公共工事の品質確保の促進に関する法律(略称:品確法)が定める「受注者の責務」として、**適当でないものはどれか。**

- (A) 必要な技術的能力の向上に努めること
- (B) 技術者・技能労働者等の育成確保に努めること
- (C) 労働環境の改善に努めること
- (D) 最低制限価格の設定に努めること

[問題 13] 新規入場者教育として、**適当でないものはどれか。**

- (A) 現場の危険個所と立ち入り禁止区域の教育
- (B) 現場の規律と安全心得の教育
- (C) 作業手順と災害事例の教育
- (D) リスクアセスメントの教育

[問題 14] 三脚脚立を使用して剪定作業する際の安全管理に関する記述として、**適当でないものはどれか。**

- (A) 左右の枝をつかんで強く引っ張らない。
- (B) 三脚脚立は、開き止め鎖をかけて、75 度以下で作業する。
- (C) 三脚脚立は、脚と水平面の角度を確実に保つための金具等を使用する。
- (D) 天板には乗らない。

[問題 15] 特別教育が必要な作業として、**適当でないものはどれか。**

- (A) チェーンソー使用の伐採作業
- (B) 仮払機を使用した草刈作業
- (C) ロープ高所作業
- (D) 研削砥石の取り換え

[問題 16] 工程・原価・品質の相互関係の一般的な事象に関する記述として、**適当なものはどれか。**

- (A) 突貫作業になると原価は安くなる。
- (B) 突貫作業になると品質は良くなる。
- (C) 品質を良くすると工程は遅くなる。
- (D) 品質を良くすると原価は安くなる。

[問題 17] 「工事監督におけるワンデーレスポンスの実施要領」に示された発注者の責務として、**適当でないものはどれか。**

- (A) 受注者に対しても「ワンデーレスpons」の意義と目的を周知する。
- (B) 予告した「回答期限」を超過する場合は、明らかになった時点で速やかに受注者へ新たな「回答期限」を連絡する。
- (C) 措置し得ない事項や判断が困難な場合は、上司に相談し回答する。
- (D) 受注者からの質問、協議への回答は、基本的に「その翌日までに」とする。

[問題 18] ネットワーク工程表を用いた工程計画における労務の平準化に関する記述として、**適当でないものはどれか。**

- (A) 山積み山崩しにより労務を平準化することは、効率性の向上に有効である。
- (B) 労務の平準化では、全体工程に遅れが出ない範囲で作業員数が揃うように作業日を割り振り、作業の効率化を図る。
- (C) 労務の平準化とは、作業の余裕期間を有効活用し、日々の作業者数を出来るだけ揃えることである。
- (D) 労務の平準化とは、作業の標準化を第一に考慮し、より効率的な品質管理を目指すものである。

[問題 19] 植栽工事の工程表作成の留意点に関する記述として、**適当でないものは**どれか。

- (A) 工期と植栽適期が一致していない場合には、十分な保護・養生及び施工方法に配慮する。
- (B) 一般に他の工事の完了後に行われるため、関連工事との工程調整の必要はない。
- (C) 高木、中木、低木、地被という植えつけ順序に配慮した工程とする。
- (D) 天候に左右されるので、気象状況を考慮して余裕を持った計画とする。

[問題 20] 植栽工事における品質管理に関する記述として、**適当でないものは**どれか。

- (A) 植栽施工に先立ち、植栽基盤調査や材料検査を行うことは、植栽工事の品質管理として重要である。
- (B) 植栽工事は、生きものである植物を使用するため、設計図書に定める形状寸法にとらわれずに、変更して進めることが重要である。
- (C) 樹木材料が搬入されたら、形状寸法、品質及び数量を確認するとともに、現場で品質を維持する対策を施すことが重要である。
- (D) 施工時期の気温などの天候は、植栽工事の品質管理のうえで重要な関係にある。

[問題 21] 植栽基盤に関する次の記述の(ア)(イ)の語句の組み合わせとして、**適当なものは**どれか。

(ア)とは、物理的・化学的に根の伸長を妨げる条件が小さく、根群が容易に(イ)できる土層のことをいう。

- | | (ア) | (イ) |
|-----|------|-----|
| (A) | 有効土層 | 伸長 |
| (B) | 有効土層 | 萎縮 |
| (C) | 排水層 | 伸長 |
| (D) | 排水層 | 萎縮 |

[問題 22] 資材発注計画に関する次の記述の(ア)(イ)に当てはまる語句の組み合わせとして、**適当なものはどれか。**

資材発注計画は、必要な資材をタイミングよく、(ア)数量を、(イ)費用で供給することとし、作成するものである。

- | | (ア) | (イ) |
|-----|-------|-------|
| (A) | 余裕のある | 余裕のある |
| (B) | 余裕のある | 最小の |
| (C) | 必要な | 余裕のある |
| (D) | 必要な | 最小の |

[問題 23] 公公用緑化樹木等品質寸法規格基準(案)に関する記述として、**適当なものはどれか。**

- (A) この基準(案)は、品質と寸法の規格を定めたものであり、樹木等の植付け時に適用すべきものである。
- (B) この規格で定める寸法値は、最低値を示しており、規格に適合するものは、定められた寸法値以上を有するものである。
- (C) 寸法規格は、樹木等の特性を表現する樹形や枝葉の配分などが整っているかなどを確認する規格である。
- (D) 品質規格は、樹木等の樹高や枝張などの大きさを数値によって表し、これを確認する規格である。

[問題 24] 原価管理における「実行予算」に関する次の記述の(ア)(イ)に当てはまる語句の組み合わせとして、**適当なものは**どれか。

「実行予算」は、工事(ア)、見積もり時に立てた施工計画を再検討し、最も(イ)な施工計画に基づいて作成しなければならない。

- | | (ア) | (イ) |
|-----|-----|-----|
| (A) | 受注前 | 経済的 |
| (B) | 受注前 | 効率的 |
| (C) | 受注後 | 経済的 |
| (D) | 受注後 | 効率的 |

[問題 25] 造園工事における予定価格積算に関する記述として、**適当なものは**どれか。

- (A) 直接工事費とは、工事目的物をつくるために直接投入される費用で、材料費、労務費、直接経費の合計である。
- (B) 一般管理費等とは、工事全体を通じて共通的に必要とする費用で、共通仮設費と現場管理費の合計である。
- (C) 間接工事費とは、工事実施のために投入される材料・労務・機械や、現場の工事管理のために必要とされる費用である。
- (D) 工事原価とは、工事施工にあたる企業活動を維持・運営するために必要な費用である。